

# スポーツ川崎

川崎市体育協会  
 広報紙  
 < 第4号 >  
 編集・発行  
 川崎市体育協会  
 広報委員会  
 TEL 200-3312  
 印刷所  
 (株)第一サンエー  
 TEL 222-2356

より速く      より強く      より高く

## 新年あけまして

### おめでとーございます



川崎市体育協会会長  
 川崎市長 伊藤三郎

市民のみなさまにおかれましては、一九八二年の新春を希望に胸ふくらませ、迎えられたことと存じます。

さて、川崎市体育協会は皆様のあたたかいお力添えによって、創立34年目をむかえ人間に例えますと、社会的にも充実した成人期をむかえました。

近年、健康体力づくりの重要性がさげばれ、「見るスポーツ」から「行なうスポーツ」へと大きく変わってまいりました。この新しい時代に対処するため、今までの経験と反省をもとに、各種大会の開催、競技力の向上とスポーツへの参加の機会の提供、普及活動の充実、広報活動の充実等の主要施策をさらにおしすすめ、市民体育・スポーツの一層の振興をはかり、健康で文化的なまちづくりに向けて、努力する所存であります。

年頭にあたり、日ごろのご指導とご協力にあらためて感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬお力添えを賜わりますようお願い申しあげ、新年のごあいさついたします。

一九八二年 元旦

### 惜しくも

#### 三連覇ならず

#### 県総合体育大会

#### 総合第三位

第32回神奈川県総合体育大会(県総体)が去る2月から9月までに藤沢の県立体育センターを中心に全15種目が終了した。県総体は2月の冬季大会のスキー競技に始まり、夏季大会の水泳、山岳、軟式庭球、ソフトボールの4種目、さらに9月19日及び26日に行なわれた秋季大会の陸上、バレーボール(男女)、バスケットボール、サッカー、軟式野球、バドミントン、卓球、柔道、弓道、剣道の10種目の全15種目が県下総勢26都市によって争われ秋晴れのもとフィナーレをむかえた。

本市はスキー3位、軟式庭球2位、水泳にいたっては11年ぶりの優勝にわき、冬季、夏季大会の終裏面につづく。

## 外野席

わが国は、人類史上例をみないほど、猛スピードで高令化社会に突入しつつある。敬老精神

が年々盛んになってきたのは結構なことである。たんに高令者の方を、シルバースーツに座らせるだけでなく、本当の生きがいと喜びを味わってもらうことが大切である。

その一つは、スポーツに親しんでいただくことではなからうか。高令者の方が、スポーツを選ぶという事は、なかなか簡単にはいれない。個人個人の好みや、体力の問題もある。

いま流行のジョギングが良いと云っても身体が弱い人は、むしろ逆効果をおこしたりする。

めいめいの個人に適したスポーツを、おすすめてできるように、みんなで一緒に考えたいと思う。

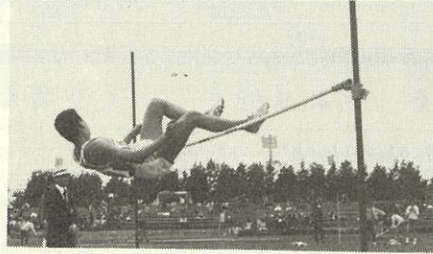


了時点に於いては、川崎は第1位の座を堅持していた。9月10日の夜、産業文化会館で開かれた秋季大会の監督者会議においても、各監督、役員の方士気も高まり昨年度に引きつづき、3連覇なるかの声もあがっていた。

しかしながら、期待されていた種目が思わしくなく、1位を横浜、2位を小田原に譲り、川崎市は惜しくも第3位にとどまった。

昨年、一年が優勝であっただけにショックが大きかったがスポーツのもつ素晴らしさを、又すがすがしさを同時に味わえたことも付けくわえたい。

今回、県総体に初出場が決まり何度かの強化練習ののち、自分たちの力



を大会に持っていったチーム、また悪天候の中、雨と泥にまみれながらも丸となって戦っていたチーム、その他さまざまな形で日頃の成果をコートにたたきつけている人々が大きかった。

またそれを家族ぐるみで応援し、たくさんの方々が集まったとき、スポーツの持つ役割というものは、勝負ごとだけでは評価できない、たくさんの方々のサポートも含まれていると強く感じた。



### 川崎市体育協会 加盟団体の紹介(第四回)

#### テニス協会

当協会は昭和31年に設立され、今年で26年目を迎えた。当時5事業所で発足したが、今日では100の事業所、9のクラブ団体にもなり、今後ますます増加の傾向を示している。これら諸団体を統括する機関として、中野会長以下20数名の役員がおり、特に最近ますます増加の傾向をたどるテニス人口に対応するため、一昨年指導部を新設し、当協会所属団体、あるいは市教育委員会の要請にこたえている。また年間の主な行事として、当協会所属団体ならびに市内在住、在勤者対象の市民大会、団体戦の事業所対抗、また中高年者の運動不足を解消してもらおうために、商工会議所と共催の部課長テニス大会、その他全国的規模をもつ川

崎ジュニア大会等があり、文字通り神奈川のリーダー的役割を果たしている。

また市教育委員会との結びつきも強く「体育の日」「ふるさと祭り」では、富士見・等々力テニスコートにおいて公認指導員によるテニス教室が開催され、好評を得ている。最後に、当協会の今後の課題として、年々増加するテニス人口に対処するため、専用テニスコートの確保と指導員の養成をはかり底辺の拡大をはかりたい。

連絡事務所

〒210 川崎区小川町2-1-2  
トモエスポーツ内  
(222) 3357



### ラグビー フットボール協会

当市のラグビー競技の歴史は古く、昭和初期に東芝チーム(旧マツダチーム)が全国制覇を遂げている。戦後、市内のチームは県協会に登録していたが、昭和42年にチームの増加をみて市体協に加盟、協会が設立した以来、社会人、クラブ大学、高校、ラグビースクール等のチームが活躍している。当協会は、春秋の市民大会、7人制市民大会、国体や東日本大会への選手派遣、ラグビースクールの開校などの事業を実施している。

ここで、ラグビースクールのことに触れてみたい。市教育委員会の後援を得て、小中学生に正しいラグビーを教え、体力向上と豊かな人間性を養うことを目的としている。指導員も充実し、生徒も180名を数え、4月に入



校し、12月の閉校式まで脱落した者はいない。

ラグビースクールの内容は、等々カグランドでの練習、春のハイキング夏期の八ヶ岳少年自然の家での合宿、県ラグビースクール大会への参加、秋の遠征試合兼ハイキング、冬の紅白試合兼閉校式等である。

当協会としては、グラウンドの整備拡充を市にお願いすると共に、全日本クラスや国際試合の実現を図りたいと念願している。なお、神奈川県協会では昨年、国際試合の2試合を、全日本クラスの6試合を三ッ沢グラウンドで行なっている。

今後当協会は、ラグビー競技の発展のため、役員一同、一丸となって努力し、愛される協会を目指している。

211 連盟事務局  
中原区市の坪581-1  
303 今村 貞方  
(433) 7286

少林寺拳法連盟

川崎市体育協会の一員である川崎市少林寺拳法連盟は、市内11支部道場から成り、現在、約500名の拳士が少林寺拳法の練習に励んでいる。

少林寺拳法と聞いて、何となく恐ろしいと感じる方もいますが、本当の少林寺拳法は、自己の肉体をきたえ、自己を高め、自分を本当に寄り処とする様な、心身共に強い人格を作り、それを自分の周りの人々のためにも役立てることを目的としています。ですから、決して恐ろしいものではなく、自分の幸せだけでなく、他人の幸せをも願う自己共栄と自己確立の精神を養うものです。

少林寺拳法は、昭和22年開祖、宗道臣先生によって、香川県多度津にて開祖されました。まだ、終戦直後の混乱した世の中で、日本の復興をなす

には、正義と勇気と行動力をもつ青少年を育成することを目的として始められた。そして、現在、この教えが多数の青少年の共感を呼び、日本国内のみならず、世界各国へと発展している。

先日、「81神奈川県青年の翼」で、わが団員が訪問した、オーストラリア、ニュージーランドにおいても、我々の道場と同じように家族的な雰囲気の中で、青い目、金髪の拳士たちが、和気あいあいの練習をしている姿に、改めて、少林寺拳法の国際的発展の一端を見る思いがした。主な活動は市民大会、体育の日の公開演武、石川記念武道館での教室等である。

211 連盟事務局  
中原区上小田中924-15  
江橋敏晴 方  
(722) 7966

相撲連盟

相撲は本市では、戦前から特に盛んで、青年団や会社・工場対抗などの大会が行なわれていた。戦後、これらの関係者の中から、会長に笠井儀郎県議や理事長に荒川美夫(日本鋼管)を選び、昭和24年に相撲連盟が結成された。加盟団体の中核は、日本鋼管、いすゞ自動車、富士電機、トキコ、日本鑄造、昭和電線、東芝、日本電線、東京製鋼、コロムビア等だった。

当初は実業団中心に運営されたが、当連盟は神奈川県体の相撲会場の運営にたずさわり、組織の充実をみた。翌31年から子供相撲大会を、41年から東日本選抜社会人学生相撲大会(県連盟と共催)を開催するなど間口を広げた。

ムが集い、きたえぬいた心技を発揮し、観衆を魅了した。現在、この2つの事業の他に、春と秋の市民大会、市民まつり等の事業を行っている。過去の実績としては、全国中学生選手権や関東中学校大会で、富士見中学が優勝や上位入賞を果たしたり、市水道局が全日本実業団選手権大会で2連覇を成すなど、輝かしいものがある。

個人の方では、団体等の大会で全国制覇をした選手や、日本相撲協会でも活躍している者もいて、内外の高い評価を得ている。現状は、青年や社会人選手が激減し、この対応に苦慮している。

立派な市営相撲場を有効に利用し、選手と指導者の養成をはかり、相撲人口を増やしたい。

210 連盟事務所  
川崎区昭和2-6-12  
桜井定吉 方  
(266) 4236



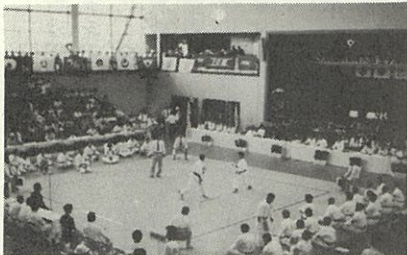
「びわ湖国体」視察記

夏季大会の報告

私達の念願であった国体に、今回から空手道競技が正式種目となり、全国から443名の選手が参加して開催された。

空手道競技

の開催場所 (湖東町民体育館) である。滋賀県愛知郡湖東町は、重要文化財など多数あり、さすが歴史の町にふさわしいところであった。



表となった、森道場の小幡正美選手が3回戦まで勝ちすゝみ、準々決勝で惜しくも敗退したが、5位入賞は立派な成績であった。また重量級では、県代表の小倉澄男選手が優勝に輝やいた。

この会場は狭いため、見学希望者全員が会場に入れず、入場を制限されたのは惜しまれた。3日間を通して感じたことは、今迄の大会とは違って、会場は熱

競技は9月13日から15日まで開かれ、種目は成年男子組手の部の軽量級、中量級、重量級、無差別級の4階級と、成年男子型、少年男子組手、成年女子型、少年少女型の計8種目で行なわれた。少年男子組手では、川崎市空手道連盟から県代

気にあふれ、やはり国体の正式種目になったことで、役員、選手の人達に励みになったのではないかと、今回、川空連からの代表選手は一人であったが、これからは多数の代表選手が出場できるよう、頑張りたい。

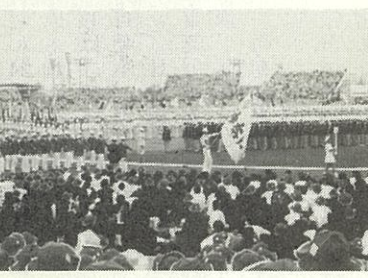
秋季大会の報告

第36回国民体育大会秋季大会をみる機会に恵まれ、国体の運営、体育施設等について3会場を回ってきた。

13日の開会式は秋晴れのもと、大津市皇子山総合運動場で行われ、午後零時20分ファンファーレで始まった。沖縄県を先頭に47都道府県選手団一万八千三百九十二人が民謡行進曲にのって整然と行進し、観客二万八千人の拍手と感動の中で終始した。33番目に入場したマリンプルーに白いかもめをあしらった川崎選手団109名(県選手団49名)は堂々の行進をし、頼もしく感じられた。炬火の点火に始まり、選手宣誓で式典は終わった。

私ならずも観衆を魅了したのは、約二千人の男女中学生による公開演技だった。水色のコスチュームに、色とりどりの旗

を使って、輝くびわ湖を表現した群舞は目と心を酔わせ、いやがうえにも大会雰囲気盛りあげた。翌14日は、近江八幡市立運動公園の成年軟式野球をみた。昨夜の雨でグランド状態は悪かったが、川崎市水道局は島根代表



ポーツ施設として、いかに有効利用されるか興味のあるところである。15日は彦根城をのぞむ庭球場をみてまわった。会場は県と市の各種体育施設が一体となっている中であり、晴天に恵まれスポーツ日和だった。

少年男子と女子、成年女子がそれぞれ根性とねばりをみせて3回戦に勝ちすゝんだ。以上のように3日間、「かけ足ある記」の簡単な報告となったが、わが川崎市の選手は、各会場で、正々堂々、ねばり強く闘って、天皇杯6位、皇后杯8位獲得に大きく貢献した。

中筋組に5対0で難なく勝利をおさめた。この施設は他にテニスコート4面、多目的グラウンド2面、体育館1館が機能的に配置された総合体育施設で、昨年新設されたばかりの立派な施設である。今後、6万の市民がス

大会をみて感じたのは式典の簡素化、在来施設の最大利用、参加選手の身近くの民泊等、節約に徹したこと。会場によっては、必ずしもスムーズな運営ばかりではなかったが、この成果は今後の大会に大きな影響を与えているのではないかと思った。



### 体育の日記念行事

#### 盛況裡に終る

10月10日、各所で各種の催しが行われましたがその一部をご紹介します。

#### 親子サッカー教室



親子77組、130名の参加があり、サッカー教室は大盛況だった。ふだん何気なく見ている子供達のプレーを、実際にやってみると、これが以外に難かしい。しばらくスポーツから遠ざかっていた親達も、からぶりをしたり、

子供に体当たりをしたり、汗と泥にまみれて、懸命に動きまわっていました。親たちは、あらためて子供達の成長に感心し、親子のふれあいを達成したようだ。

#### 親子ラグビー教室



3回目を迎えた、この行事も、PRが浸透して父母90名、子供140名の大勢が参加。柔軟体操から始め、基本練習をしたが、親の動きは、ぎこちなかった。母親と小学4年生のゲームや父親と高学年のゲームを行ない、この

#### 女子剣道大会

近年、少年達の剣道が盛んになっているが、それと平行し、女性の剣道愛好家も、ばく発的に増えてきた。体力つくりと精進修養の面からも最高のスポーツと、見直されたのではないだろうか。そこで婦人達を中心とした女子剣道大会を開催、家庭婦人や勤労婦人、女子高校生等100余名が集まり、技術的にも見ごたえのある試合を展開した。特に家庭婦人の部では、チビッ子や夫たちの家族ぐるみの声が一丸となって、競技に参加し、会場は大いにわいた。今後とも愛好者が増えるよう、婦人指導者の養成と会場の確保に努めたい。

### 川崎市スポーツ少年団

本市におけるスポーツ少年団の歴史は古く、今年で、15年目をむかえている。現在加盟している単位団は、23団体であり、その種目も、剣道、柔道、少林寺拳法、ラグビー、サッカー、ミニバスケなど、多岐にわたっている。

しかし、それらの集団が今のように、活発とは言えないまでも、一つの目的を持って有機的に活動するようになって来たのはそう古いことではありませぬ。勿論、単位団ごとにはそれぞれ熱心な指導者が中心となって、活発に活動しているが、それがかならずしもスポーツ少年団全体としての活動に結びつかなかったのが従来の実情である。

本市のスポーツ少年団が、その本来の意味を問い直し、本部として組織化されたのは、ほんの数

年前のことです。まず、各単位団より派遣された指導者が構成する「専門部会」が設置され、総務、指導、企画と分かれて活動している。ここ数年來は、青少年リーダー層の薄さが、課題とされており、その確保の方策について論議され、魅力あるスポーツ少年団のあり方について、模索している状況です。

本部行事としては、スポーツ少年団大会(オリエンタリング大会、スケート教室など)、リーダー講習会、体力テスト会とが毎年持たれ、盛況を呈している。

今後とも、魅力ある、スポーツ少年団づくりにむかってがんばっていきましょう。

連絡事務局  
〒210 川崎区砂子1-8-1  
市教委体育課内  
(200) 3312



スポーツ今昔

東芝スポーツの状況

昭和25年9月1日付の「読売スポーツ」によると、川崎の東芝スポーツの現況と題し、次のような記事が掲載されている。

従業員の8割が何等かのスポーツ・レクリエーションに参加し、体育予算は二千万円(現在の一億円相当額)で、まさに日本一と五段ぬきで掲載され、この原動力は東大時代ボートの選手として活躍した、久野専務取締役の深い理解と努力によるもの以外の何物でもない。スポーツ振興が、明るい職場、豊かな人間関係を構成し、労使の深い理解を増進させるに役立つものである。久野専務は、神奈川県実業団体体育連盟、関東勤労者体育連盟、全国実業団体体育連盟の会長を引受け、休日実施の中央大会には、必ず出席するという熱の入れ

方に全役員選手敬服し、定評ある会長である。

久野専務は全国数千の会社、工場、事業所の数多い中で初めて職制に体育課を新設し、東芝傘下の各事業所のスポーツ・レクリエーションの指導管理を行い、毎年、多額の経費を計上している。その活動状況は、東芝全国野球大会、東芝プロック別卓球・庭球・バレーボール大会を開催し、従業員の健康増進と各事業所従業員の親睦に役立たせると共に、東芝を代表するスポーツにも力を注いでいる。また久野専務は自分のポケットマネーから40個の大カップを職場スポーツ大会に提供するなど力の入れ方に対し大きく評価している。現在、我々のスポーツ界に久野専務のような深い理解をもち、これ程の物心両面の援助をされる方は少ないのではなからうか。(次号につづく 浅野記)

トピックス

西中原中学校、県中学駅伝で優勝

昨年11月22日、津久井湖で第3回県中学駅伝競走大会が開かれ、2位に大差をつけて大会新記録を樹立した。この大会で川崎勢は、過去2連覇しており、駅伝王国をゆるぎないものにした。今年も頑張っ

て欲しい。  
。やまゆり杯争奪家庭婦人大会  
昨年11月、12月に市内68チームの家庭婦人バレーボールチームが集い、やまゆり杯第1次予選が実施されベスト8が決まった。第2次予選は2月21日松下体育館で実施予定。

県大会での川崎代表の健闘を期待したい。  
。等々力野球場・陸上競技場の改修工事着工  
等々力緑地公園内のこの2施設が、3月に装いも新たに完成予定。野球場は観客席が増え、3000人収容可能となる。また陸上競技場は、サッカーができるように、フィールド内を全面改修し、多目的施設へ衣がえ。

。川崎市出身、栃纏、十両へ  
川崎市幸区出身の22歳、栃纏(南河原中学卒)が新十両に昇進。今後の活躍を期待したい。

。新生、市民球団ロッテ新監督に山本氏  
昭和57年度、激しさをブランドにたたきつける「エキサイティング・ベイスボール」をめざす情熱の人、山本一義氏を新監督に迎え、ロッテオリオンズは大きく生れ変わろうとしています。優勝をめざして頑張っ

市サッカー協会理事長松村圭造氏の逝去をいたむ

去る11月25日午前9時30分、心筋硬塞症のため自宅で逝去された。享年62歳。つつしんでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。

スポーツ川崎も発刊以来、1年余を迎え、第4号を発行することができました。ふりかえってみますと、あれもしたい、これもしたいと企画だけれに終ったり、成し得たことの余りにも少ないことをしみじみと感じる次第。ともあれ昨年一年間の御指導、御協力に心からの御礼を申しあげます。今年も、広報委員一同はりきって編集にあたりますので、読者の御指導御叱咤のほどよろしくお願ひいたします。